

# 但馬の魅力 伝えたい

## 豊岡・田舎暮らしセンター 3年ぶりに相談員

### 新温泉 岡坂遼太さん

公益財団法人・但馬加などを議論する中、「ふるさと」づくり協会（豊岡市山王町）内の「たじま田舎暮らし情報センター」に今春、但馬地域への移住を担当する窓口相談員が3年ぶりに就任した。相談員になった新温泉町用士の岡坂遼太さん（26）は「田舎に行きたい」と思っている人に、但馬に興味を持ってもらいたい」と話している。

協会には2013年5月まで窓口相談員がいたが、但馬内の各市町や民間がU・Iターンへの取り組みに力を入れ始めたことなどが原因で不在になっていた。しかし、地方創生に関心する人が増え、おこしの手伝いなどを

加などを議論する中、「但馬全体のまちおこしに寄与したい」との思いは以前からあった」と言う。

当面は、相談員に合った市町を一緒に考えたり、各市町や民間団体の担当者を紹介したりする。また、県とも連携して但馬の情報を東京や京阪神で発信する。ネット上では、協会が運営する「但馬情報特急」内のサイト「田舎でたじま暮らし」の充実も図る。

岡坂さんは「U・Iターンには各市町とも力を入れていますが、オール但馬の調整役になりたい。サイトで但馬への移住者も紹介したい」と話している。



但馬の魅力を伝える窓口相談員を務める岡坂遼太さん（豊岡市山王町）

たじま田舎暮らし情報センター

問い合わせは但馬ふるさとづくり協会（0796・24・2247）。

【柴崎達矢】